



平成 28 年 2 月 4 日

各 位

会 社 名 ヤマシンフィルタ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 山崎 敦彦
(コード番号：6240 東証第二部)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 鷹野 徹
(TEL. 045-680-1671)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 2 月 4 日開催の取締役会において、平成 27 年 10 月 15 日に開示した平成 28 年 3 月期通期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）の業績予想に関して、有価証券上場規程第 405 条及び同施行規則第 407 条が定める基準を上回る乖離が生じる見込みとなったため、下記の通り業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 平成 28 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	10,351	526	503	329	26.52 円
今回修正予想 (B)	9,406	368	372	200	16.14 円
増 減 額 (B-A)	△944	△158	△131	△129	—
増 減 率 (%)	△9.1%	△30.0%	△26.1%	△39.2%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	10,703	869	830	430	38.35 円

(注) 当社は、平成 27 年 8 月 4 日開催の取締役会の決議に基づき、平成 27 年 9 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合をもって分割する株式分割を行っております。これに伴い、平成 27 年 3 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1 株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 業績予想の修正理由

平成 28 年 3 月期の建設機械市場の見通しにつきましては、前回通期の業績予想を公表した平成 27 年 10 月 15 日時点と比較し主要得意先の生産計画は下げ止まり感が出てきたものの、販売台数の減少傾向は続き、とりわけ中国市場向けの販売台数の減少は大変厳しいものがありました。

このような市場環境下では需要反転にはしばらく時間を要することを踏まえ、平成 27 年 10 月 15 日に公表した通期の業績予想の修正を行います。

- a. 売上高については、当社のライン用フィルタに関しては、主に中国市場での新車販売台数の減少により、前回開示した業績予想に比べ約 7.5%の減収となる見込みです。

また、補給用フィルタに関しては、アフターマーケット市場においても中国市場低迷の影響により、建設機械の稼働時間は減少し、得意先各社が実施している在庫の持ち高調整の影響を受け、前回開示した業績予想に比べ約 10.9%の減収となる見込みであり、売上高全体では、前回開示した業績予想に比べ 9.1%の減収となる見込みです。

- b. 営業利益については、前回業績見通しを開示した時点より引き続き、利益確保のためコスト削減計画を実施し、削減目標額達成に向け邁進しておりますが、売上高の減少に伴い、前回開示した業績予想に比べ 30.0%の減益となる見込みです。
- c. 経常利益については、営業利益の減少に伴い、前回開示した業績予想に比べ 26.1%の減益となる見込みです。
- d. 親会社株主に帰属する当期純利益については、経常利益の減少に伴い、前回開示した業績予想に比べ 39.2%の減益となる見込みです。

なお、配当予想並びに株主優待につきましては、平成 27 年 8 月 4 日に開示した「株式分割及び定款変更並びに配当予想修正に関するお知らせ」及び平成 27 年 8 月 5 日に開示した「株主優待制度に関するお知らせ」の内容に変更はありません。

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上